

	賞名	作家名	出身地等 (活動拠点)	作品名	作品 形態	作品概要説明	画像	備考
		アルファベット表記		英訳				
1	○ JUN 賞	三枝 愛 MIEDA Ai	1991年 埼玉県生まれ (埼玉県、京都府)	庭のほつれ I'm waiting for the time, when that field is opened again.	インスタレ ーション	自身の生まれ育った環境とその変化を追うインスタレ ーションシリーズ。東日本大震災以降、激減し、椎茸農家 や周辺環境の変化を引き起こしてきた原木を、箱の中 (キューブ) に一時的にとどめ、展示空間の外側へと意 識を開いてゆく場をつくります。		
2	十一代大桶長左衛門 賞	柴山 豊尚 SHIBAYAMA Toyohisa	1955年 岐阜県生まれ	ニョッキ (如木) 2017 Nyokki 2017	立体	この世に存在するすべてのものは、留まることなく常に 移り変わります。その無限に広がる一瞬を、木の積層材 を使った造形を鏡に映すことで表現。「身体とは、精神 を伴って初めて成り立つ」という作家のテーマが空間に 結実した作品になります。		岐阜県出身
3	高橋 源一郎 賞	安野 太郎 YASUNO Taro	1979年 埼玉県生まれ	ザ マウスレウム THE MAUSOLEUM 大霊廟 THE MAUSOLEUM	自動演奏装置	ケーブルで繋がれた12台の自動演奏装置は、エネルギー が供給され続ける限り、永遠に情報を交換しながら「ゾ ンビ音楽」を生み出します。それは、人類が減じた未来 で、永久に人類を送葬し続ける霊廟で鳴り響いている音 楽なのです。		IAMAS卒
4	田中 泯 賞	谷本 真理 TANIMOTO Mari	1986年 兵庫県生まれ (東京都)	この部屋とダンス Dance with this room	インスタレ ーション	粘土で形を作り、柔らかいうちに壁や床に投げつける。 心地よい身体感覚を探る振り舞いと作為を無にする行為 とが作家自身の意図を崩し、空間を変化させます。空間 内のすべてがまるでダンスの軌跡のような変化の予感に 満ちるでしょう。		
5	中原 浩大 賞	森 貞人 MORI Sadahito	1950年 愛知県生まれ	ミメシス インセクト Mimesis Insect キューブ Cube Mimesis Insect Cube	立体	昆虫の擬態をヒントに、ムシ型オブジェを制作し、時代 の漂流物となった「ガラクタ」に命を吹き込みます。無 数のムシが解き放たれたキューブの中央に座して、モノ に残る思念を感じ取り、身体の行方を問う丈六空間を生 み出します。		
6	三輪 眞弘 賞	耳のないマウス Earless Mouth/Mouse	2015年 結成 (長野県、東京都)	移動する主体 (カタツムリ) Shifting Self(Snail)	立体	日常は習慣化された思考から離れば、今よりもおぞま しくも滑稽にも、また美しくもなります。手遊びで“カ タツムリ”の形をつくり、指だけが動いている手(記 号)とそれが指し示す対象との差延により、自明のもの として受け入れている価値観に疑問を投げかけます。		グループ
7	鷺田 清一 賞	水無瀬 翔 MINASE Sho	1984年 京都府生まれ	デモ デポ DEMO DEPO イン・ザ・キューブ 支店 DEMO DEPOT IN THE CUBE Branch	インスタレ ーション	主体性が商品として流通することについての批評的表 現。デモ行進用に設計されたロボットの貸出を行う店舗 で、鑑賞者は顧客としてデモ用ロボットを無償で借り受 けることができます。		IAMAS卒

	賞名	作家名	出身地等 (活動拠点)	作品名	作品 形態	作品概要説明	画像	備考
		アルファベット表記		英訳				
8	入選	サウ 佐藤 雅晴 マサハル	1973年 大分県生まれ (茨城県)	ハンズ HANDS	映像	人が手を使って世界と関係を結ぶ実写と、手の部分だけをトレースしたアニメーションが混在する映像作品。作家にとってトレースとは、対象を「自分の中に取り込む行為」。膨大な枚数の作画は、デジタル機器を駆使する身体／手によって生み出されています。		
		SATO Masaharu		HANDS				
9	入選	ナカムラ 中村 潤 メグ	1985年 京都府生まれ	縫いの造形	立体	紙を糸で縫ってキューブと同寸の巨大な紙袋をつくり、キューブの壁と縫い合わせます。そうすることで生まれる不確かな形、縫い目、上部からさす光、糸、運針の感覚、縫う行為が溶け合い、見えているものを通して、身体の少し先にある「記憶」や「経験」を呼び起こします。		
		NAKAMURA Megu		The shape of sewing				
10	入選	ヒラノ 平野 真美 ミミ	1989年 岐阜県生まれ (東京都)	蘇生するユニコーン	立体	人々の脳内に屍となって横たわる非実在生物を実際に出現させます。骨格・内臓・筋肉・皮膚などをかたちづくり、肺に空気を送り、血液を循環させ、純真さの象徴であるユニコーンに生命を吹き込みます。それは失った夢や希望・幻想を蘇生させる瞬間でもあるのです。		岐阜県出身
		HIRANO Mami		Revive the unicorn				
11	入選	ホリカワ 堀川 すなお スナオ	1986年 大阪府生まれ	モノについて	平面 立体	実際に目の前にあるモノと、そのイメージは同じなのでしょうか？ 観察と分析を通じ、言葉からモノの姿を図面のように描き起こす実験的な平面作品を通し、理解や共有のあり方への懐疑を空間全体で提示します。		
		HORIKAWA Sunao		About an object				
12	入選	マツモト 松本 和子 カズコ	1988年 大阪府生まれ (京都府)	透明の対話	平面	フレスコ技法を用いて、時代や社会から影響を受けて彷徨う記憶の断片や気配を描きます。意識の痕跡を昇華させたような光景は、作家にとって他者との共通感覚のようなもの。古典技法を通して、身体や記憶、空間の表現について今日的な可能性を探ります。		
		MATSUMOTO Kazuko		Transparent dialogue				
13	入選	ミキ 三木 陽子 ヨコ	1963年 兵庫県生まれ (京都府)	コンジット Conduit (導管)	立体	触覚は、客観・主観両方を持ち、外部と内部、無意識と意識を結び付ける、純粹で根源的な感覚。自身の手から生まれた陶のオブジェに、それらと相反する概念を持つ工業製品を組み合わせ壁面に張り巡らせ、見えざる世界と見える世界の境界を表現し、身体の内部に眠る無意識を喚起させるインスタレーション。		
		MIKI Yoko		Conduit				
14	入選	ミヤハラ 宮原 嵩広 タカヒロ	1982年 埼玉県生まれ	ミッシング Missing matter	立体	鑑賞者は、アスファルトを敷き詰めた空間に裸足で入り、身体で作品を感じ取ります。かつて、人間社会と自然の関係を象徴する素材として捉えられたアスファルト。その象徴性が失われつつある現代において、再びアスファルトを使って、人間と物質の関係を再定義します。		
		MIYAHARA Takahiro		Missing matter				